

一年間宜しく  
お願い致します。



副幹事長

荻原星治

Ogihara Seiji (新63期)

本年度の副幹事長(庶務3)を仰せつかりました、新63期の荻原星治と申します。

本年度の執行部挨拶にも書かれていたように、友新会の人数は会員・準会員を合わせて700人を超える規模となっております。これは、大半の単位会の人数を優に上回る規模と言えます。

思い返すと、組織の執行部的なポジションを務めたのは、大学時代に、合宿に150人集まるようなテニスサークルの副会長をしていたぐらいでした。このような私が、友新会のような大きな組織の運営に参画することになり、今更ながらとんでもない役割を務めることになったなと身が引き締まる思いです。

現執行部は既に今年1月から動き出しており、数回の執行部会、正副委員長会議等が開催されています(本原稿執筆時)。私自身、優秀な先輩方に助けていただきながら、色々と勉強させていただいております。前年度執行部の先生方もおっしゃっていましたが、組織の運営を直に体験するというのは貴重な経験であると実感しています。

先程、友新会の人数が700人を超えていると申し上げましたが、このうち、弁護士登録後10年目までの会員で構成される若手会所属の会員が半分に上ります。このような状況の中で、若手会所属会員であるとともに執行部を務めるということは、ベテランの会員と若手の会員をつなぐ役割を担っていると言えます。そのことを意識しながら、一年間、印藤幹事長の力になれるよう励む所存ですので、よろしく願いいたします。

なお、平成22年12月に弁護士登録をした後は別の会派に所属しており、本会に入会したのは約2年前であります。したがって、弁護士としては7年目になりますが、友新会会員としては新人に近いと言っても過言ではありません。至らぬ点がありましたら、遠慮なくご指導いただければ幸いです。